学校番号	T3017

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅱ 改訂版　Tutti（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

発表の機会を多く持ちます。音楽Ⅰの学習成果を確認しながらさらに音楽を楽しみます。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち,歌唱,器楽,創作,鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し,それらの働きを感受しながら,歌唱,器楽, 創作の音楽表現を工夫し，どのように歌うか，演奏するか， 音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽,創作の技能を身に付け，創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きを感受しながら，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして，音楽に対する理解を深め，よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業への出席、音楽への関心、レポートの提出状況、実技テストへの取り組み姿勢等の学習態度を評価する。	授業の中での実践の状況や実技テスト、レポートの内容で評価する。	個人及びグループの演奏の状況や提出作品等で評価する。	レポート、鑑賞文、授業中の発言内容、発表の内容等で評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7 8 9	時代	斉唱で歌う	○		○		a:授業に遅刻せずに出席し、積極的に参加し、レポート等も提出している。 b: 音程正しくお互いにきき合いながら歌おうといする表現意図を持っている。 c:腹式呼吸をマスターして大きな声で歌えている。 d:ミュージカルについて理解を深めている。	出席状況 授業態度 レポート 授業プリント 実技テスト等
	あら野のはてに	3 部合唱させる。		○				
	Ave Maria	独唱させる。			○			
	ウエストサイド物語	ビディオ鑑賞ーミュージカルに親しむ。				○		
	トウナイト	二重唱		○				
	重唱発表	歌の発表をさせる。			○			
10 11	ハンドベルメドレー	ハンドベルその他の楽器を使って合奏させる。	○	○			a:授業に遅刻せずに出席し、積極的に参加し、レポート等も提出している。 b: 音程正しくお互いにきき合いながら協力して演奏しようとする表現意図を持っている。 c:基本的な演奏技術ができている。 d: 他者の発表のよいところを味わって聞ける。	
12 1 2 3	自由曲の合奏と独奏 練習 → 発表	グループあるいは個人で好きな曲を演奏する。 個人個人苦手な部分を集中練習させる。 出来たらステップアップさせる。			○			

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b: 音楽表現の創意工夫

c: 音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。